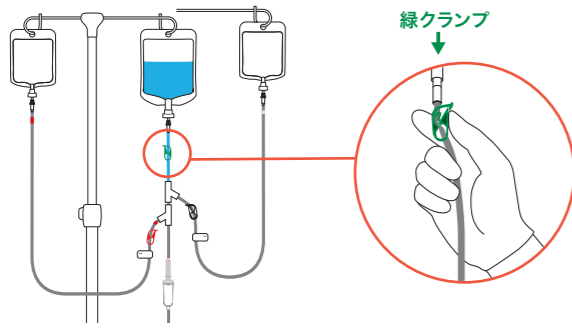


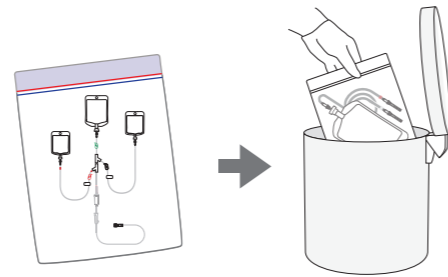
4. 廃棄

- ① 全ての投与が終了したら**緑クランプ**を開放し、メインルート内を生理食塩液でウォッシュアウトしてください。



- ② HD*の入っていた輸液バッグは接続を外さず、アンティリークと一体のまま、ジッパー付きプラスチックバッグに入れて密封してから専用の廃棄容器に廃棄してください。 ※HD・・・Hazardous drug(ハザードス・ドラッグ)

接続は外さず、一体のまま

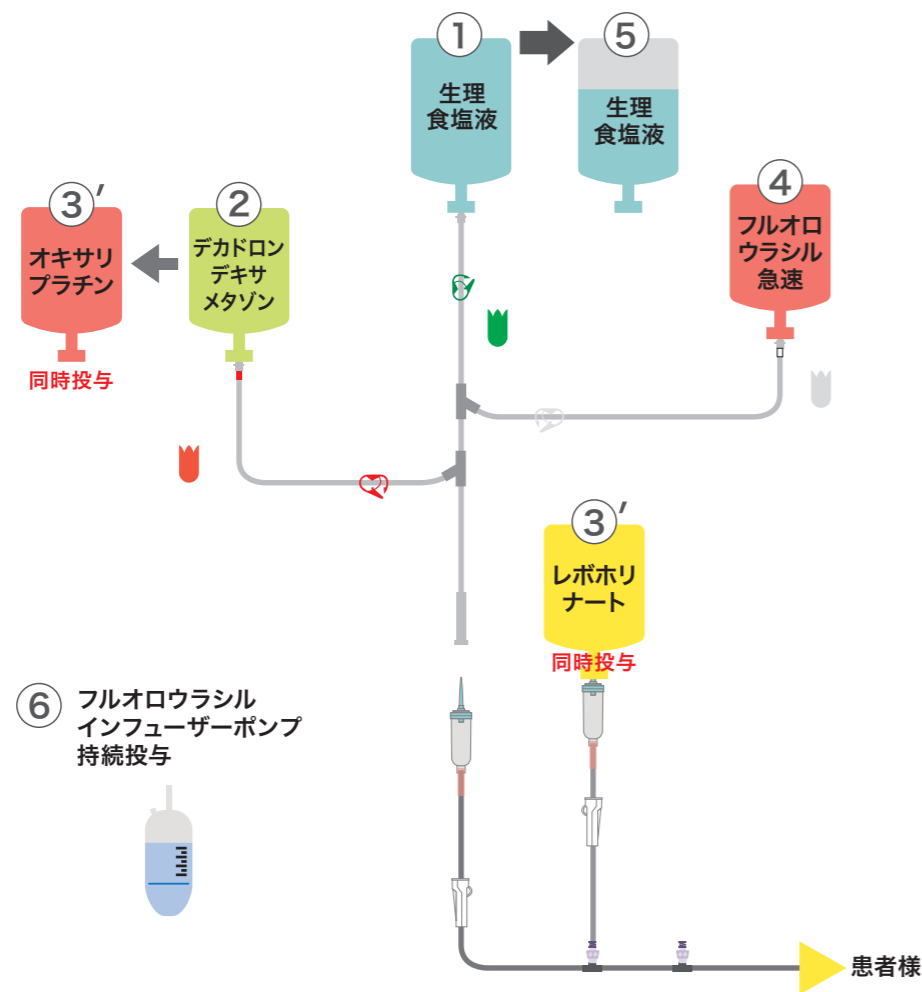


mFOLFOX6療法の場合

※記載の投与パターンは一例です。施設ごとのレジメンに基づいて投与してください。



AL-CW2



販売元



〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通2丁目2番16号 三宮南ビル7階
TEL: 078-414-8282 FAX: 078-414-8281 <https://www.kbjapan.co.jp>

製造販売元



〒327-0003 栃木県佐野市大橋町1647番地
<http://www.fgm.co.jp>

販売名: AL接続セット

製品名: アンティリーククラウン

一般的名称: 輸液用延長チューブ

医療機器届出番号: 09B1X00004000164

クラス分類: 一般医療機器



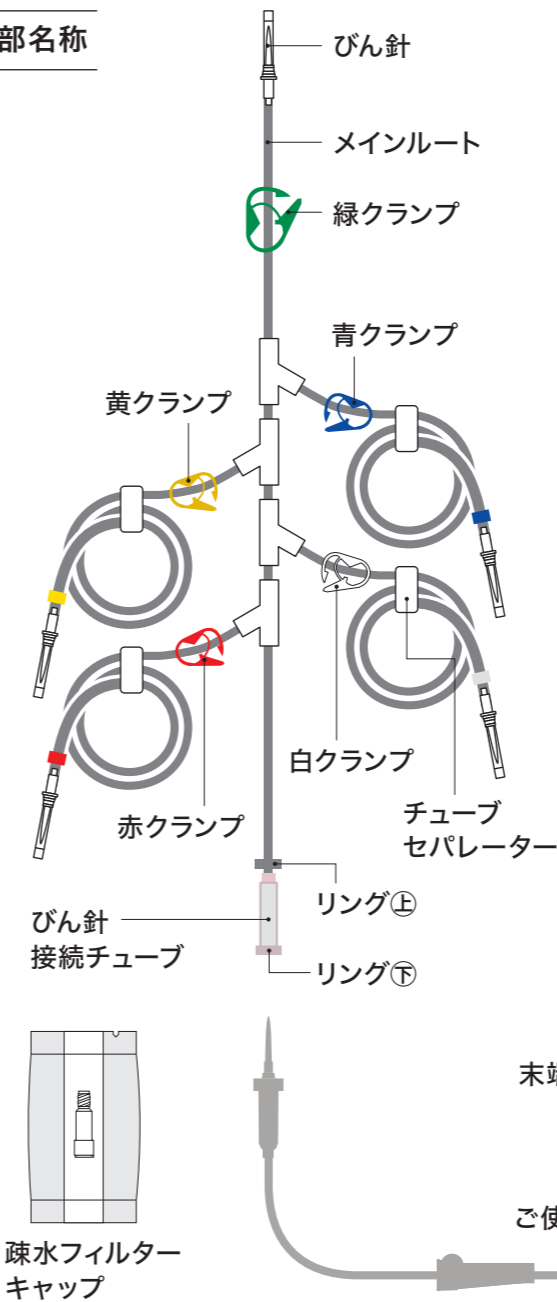
抗がん薬投与用 一体型接続セット アンティリーク

操作ガイド

Crown - クラウン -

お使いになる前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

各部名称



アンティリーク®は、メインの輸液ルートと最大4本*の側管ルートで構成された一体型接続セットです。
それぞれの側管ルートに輸液バッグを順番につないで投与することでバッグ交換によるHazardous Drugs (HD)の漏出を防ぎ、安全に投与することができます。

※側管、2本タイプ、4本タイプの二種類



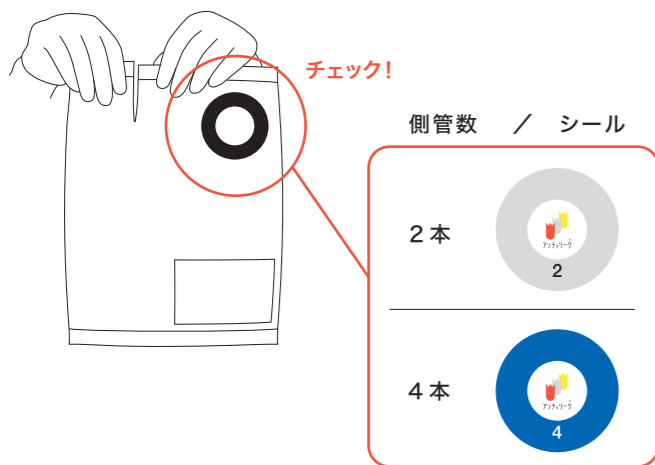
童謡「チューリップ」の歌にある『♪赤・白・黄色～』の順番でお使いください。

オートプライミングの操作ガイドを動画でご覧いただけます。 →

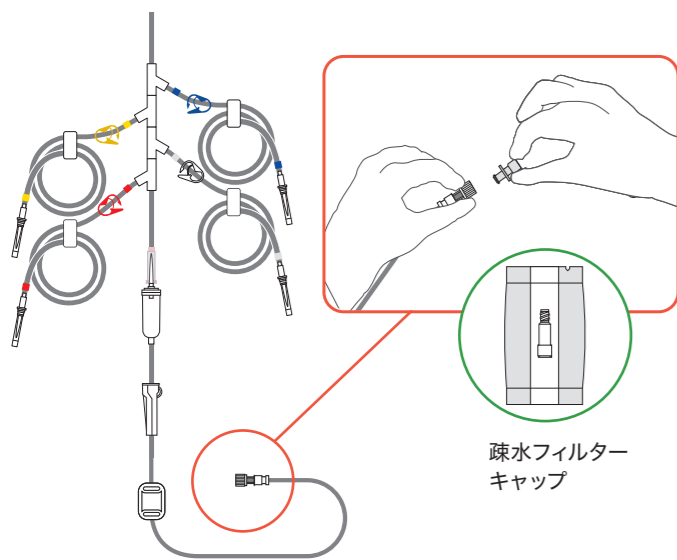


1. 準備

1 開封前に側管数を確認します。

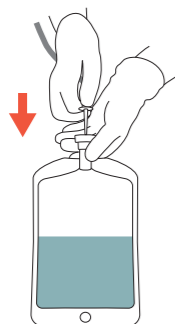


3 輸液セットの末端キャップをはずし、付属の疎水フィルターキャップに交換します。

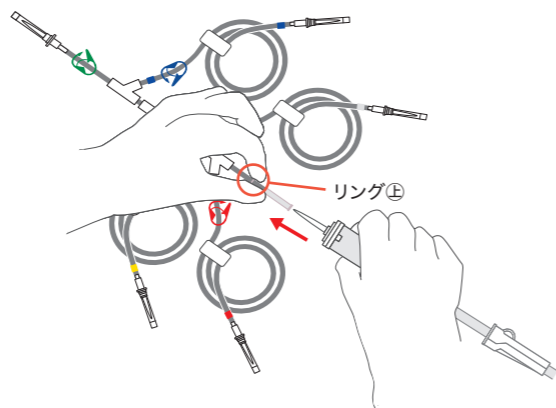


2. プライミング

1 メインルートのびん針を、生理食塩液の輸液バッグに上から下へしっかりと刺入してください。

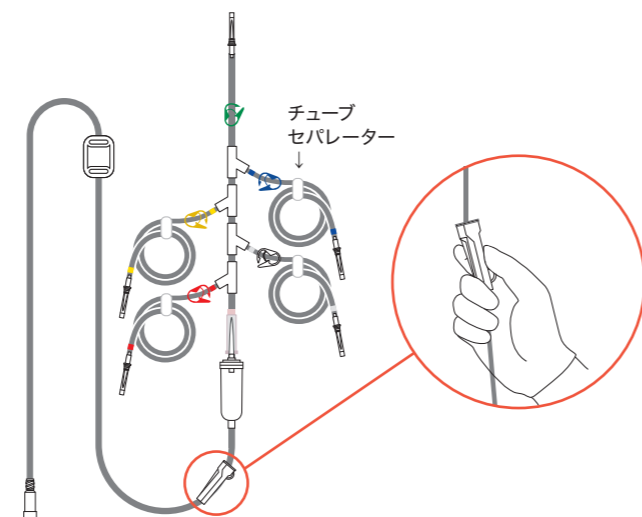


2 アンティリークのびん針接続チューブに、輸液セットのびん針を挿入して接続します。びん針接続チューブのリング④を掴んで穿刺してください。

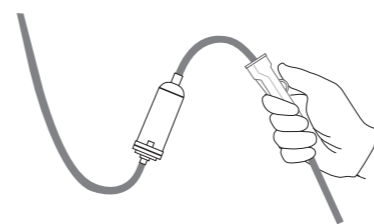


びん針の根元までしっかり差し込む

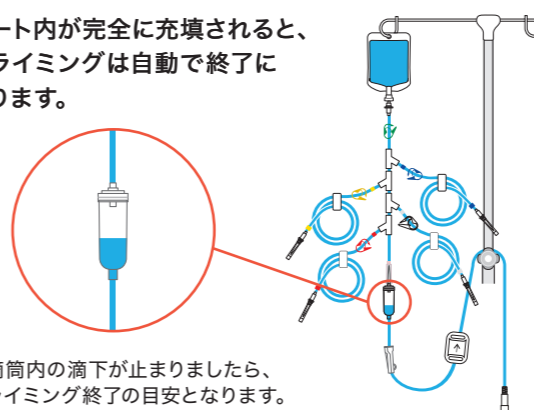
4 各キャップに緩みや脱落がないことを確認し、輸液セットのローラークレンメのみを閉じてください。各側管ルートは、チューブセパレーターから外さずに準備してください。外れた場合は、はめ直してください。



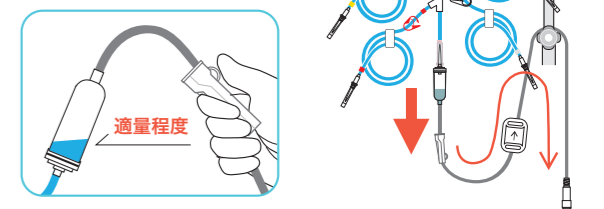
3 各側管ルートのプライミングが終了したことを確認し、液溜まりを作るために点滴筒を逆さにしてください。ローラークレンメを持つとスムーズです。



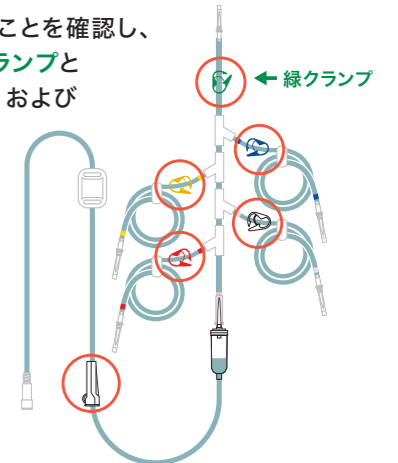
5 ルート内が完全に充填されると、プライミングは自動で終了になります。



4 ローラークレンメをゆっくり開放し、点滴筒内に液溜まりを作ります。三分の一程度まで溜まりましたら、点滴筒をもとの位置に戻してください。下部ルート内のプライミングが開始されます。

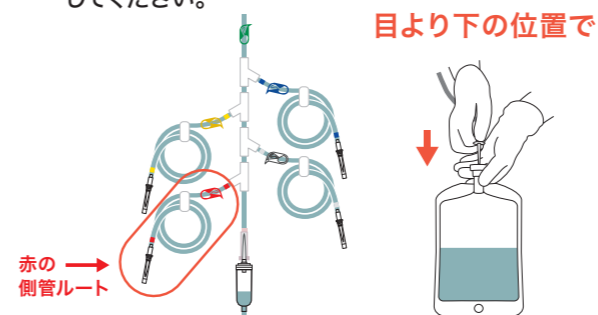


6 エアが完全に抜けたことを確認し、メインルートの緑クランプと全ての側管クランプ、およびローラークレンメを閉じてください。

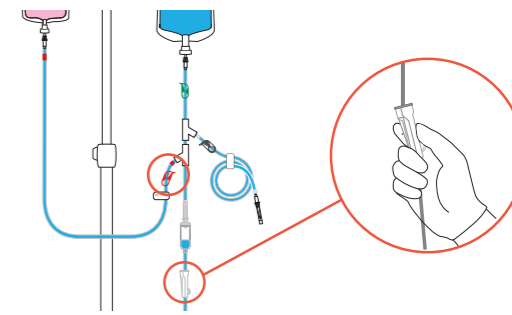


3. 投与

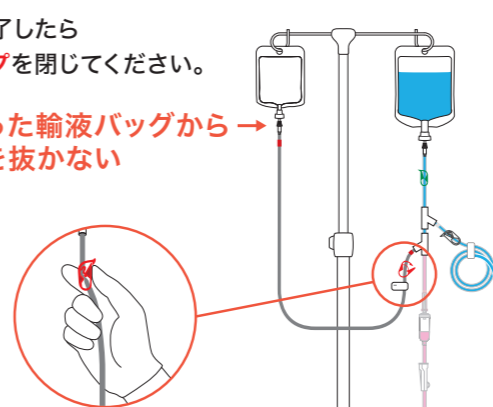
1 赤側管ルートから使用します。びん針キャップを外し輸液バッグにびん針を、上から下へしっかりと刺入してください。



2 赤クランプを開放後、ローラークレンメで速度を調節しながら投与を開始します。



3 投与が終了したら赤クランプを閉じてください。空になった輸液バッグから→びん針を抜かない



4 2剤目以降の投与がある場合は、『白、黄、青』の順番で同様にご使用ください。

